

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第5部門第2区分
【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2001-263344(P2001-263344A)
【公開日】平成13年9月26日(2001.9.26)
【出願番号】特願2000-72002(P2000-72002)
【国際特許分類第7版】

F 1 6 C 17/10

F 1 6 C 33/10

【F I】

F 1 6 C 17/10 A

F 1 6 C 33/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月23日(2003.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

軸受穴に挿入された固定軸を備え、前記固定軸は前記軸受穴の開放端側に向かって径が小さくなるテーパ部を有し、前記軸受穴は前記固定軸のテーパ部に対向する位置に溝を有する構成とした流体軸受装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記問題点を解決するために、軸受穴に挿入された固定軸を備え、前記固定軸は前記軸受穴の開放端側に向かって径が小さくなるテーパ部を有し、前記軸受穴は前記固定軸のテーパ部に対向する位置に溝を有する構成としたものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

これにより、溝と固定軸との間に潤滑剤をシールする力を固定軸のテーパ角でコントロールすることができ、潤滑剤の流出の無い流体軸受装置の構成を得ることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、固定軸における溝に対向する部分が軸受穴の開放端側に向かって径が小さくなるようなテーパ状としたことにより、固定軸のテーパ角を変えることでシール力をコントロールでき、潤滑剤の流出の無い流体軸受装置の構成を得ることができる。